

動物愛護管理基本指針の点検結果

図表資料

実験動物の適切な取扱

平成 24 年 3 月に、国内の実験動物取扱施設に関する概要把握、実験動物取扱施設における「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の遵守状況等、実験動物の適切な取扱いについて、アンケート調査を実施した（ ）。実験動物取扱施設のうち、約 91% が「動物実験の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」の内容を知っている。

約 76% の施設で基準内容に即した指針や要綱等を策定しており、そのうち約 91% の施設で実験動物の殺処分に関する規定を策定、約 92% の施設で指針等の遵守に関する指導を行う委員会等を設置している。

実験動物に関するアンケート調査概要

対 象：動物実験施設を有する可能性がある団体等（約 3,515 団体）

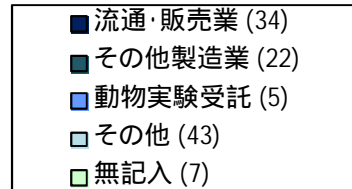
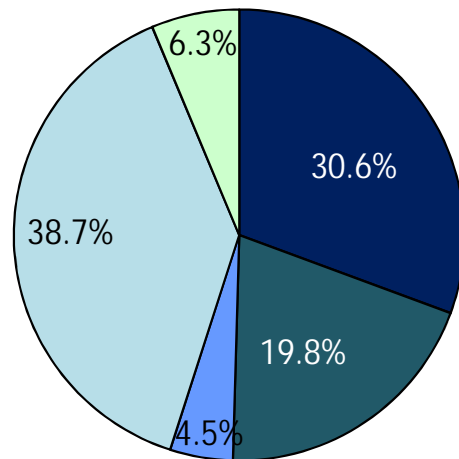
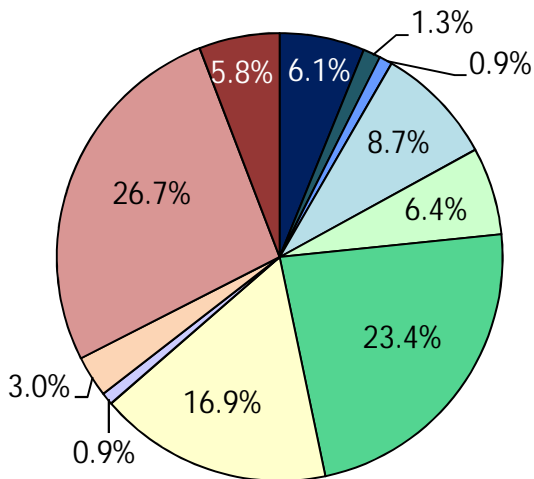
調査方法：郵送、電子メール

有効回答：1,905 件

動物実験施設を有する可能性がある団体等の種類（アンケート対象の内訳）

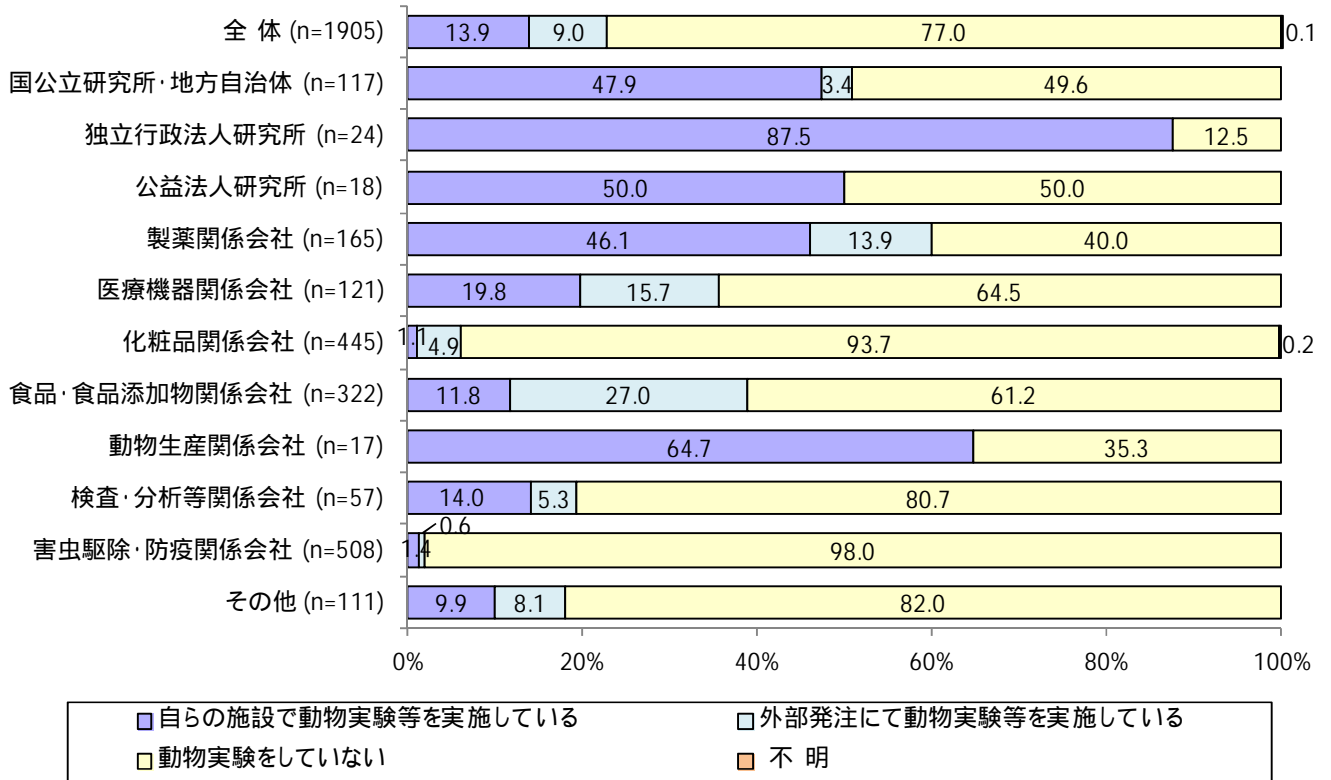
全体（n=1905）

その他内訳（n=111）



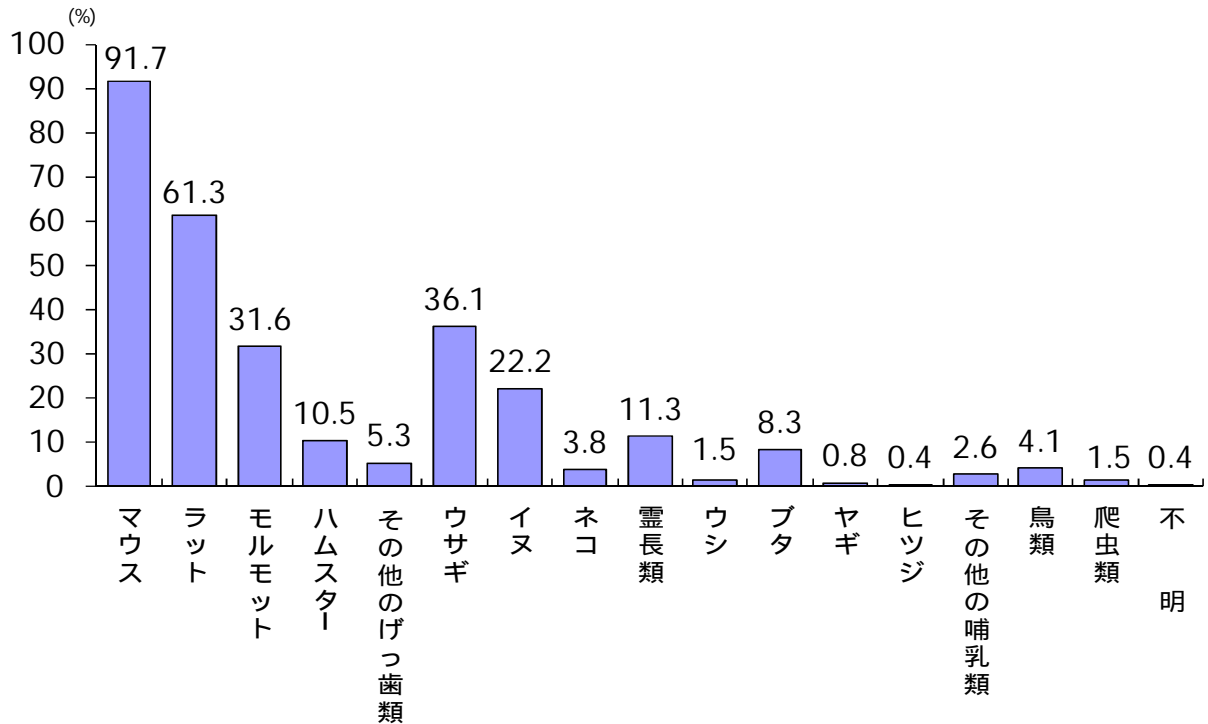
動物を用いた実験の有無

(n=1,905)



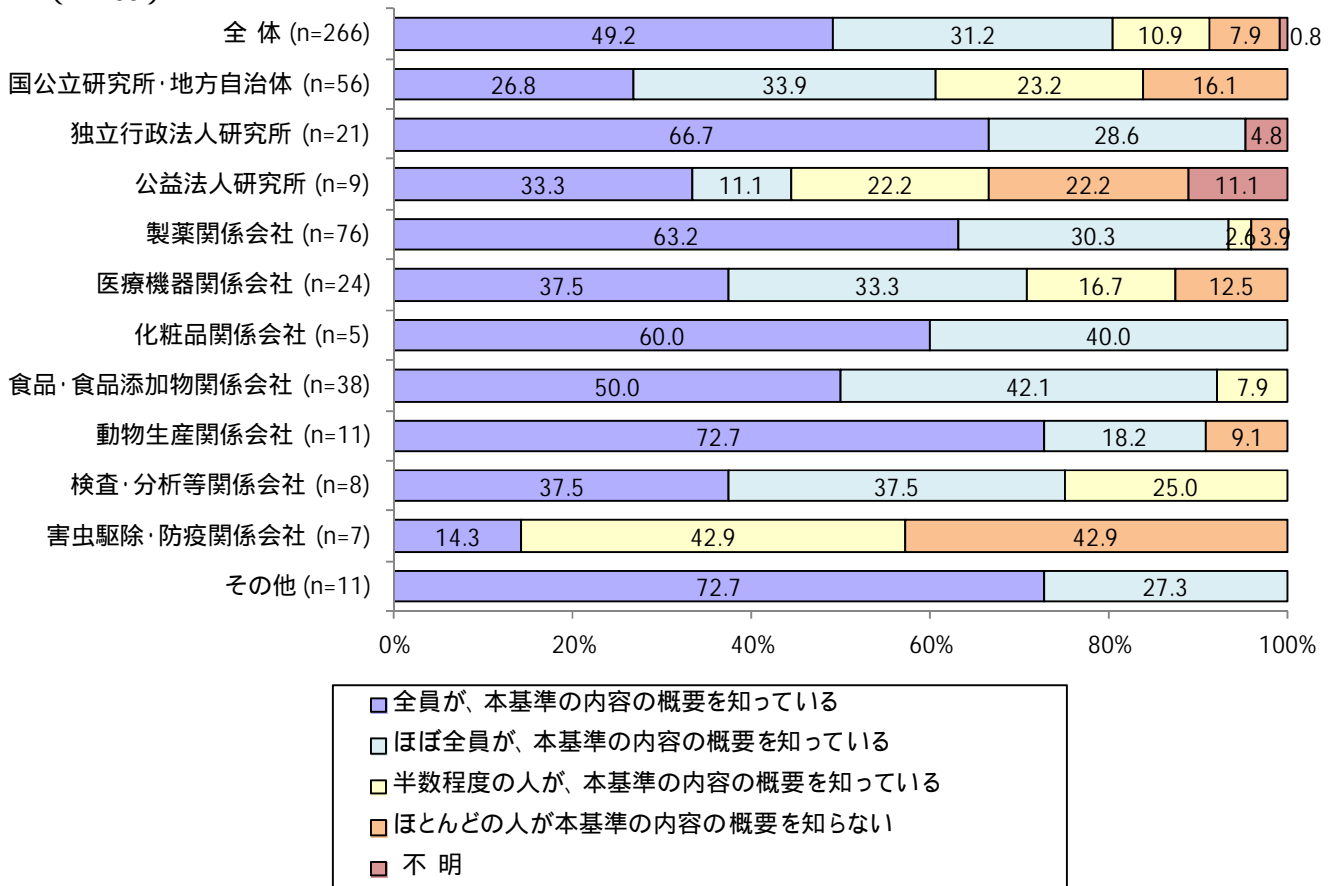
実験の為に購入・生産・飼養等した動物種

(MA n=266)



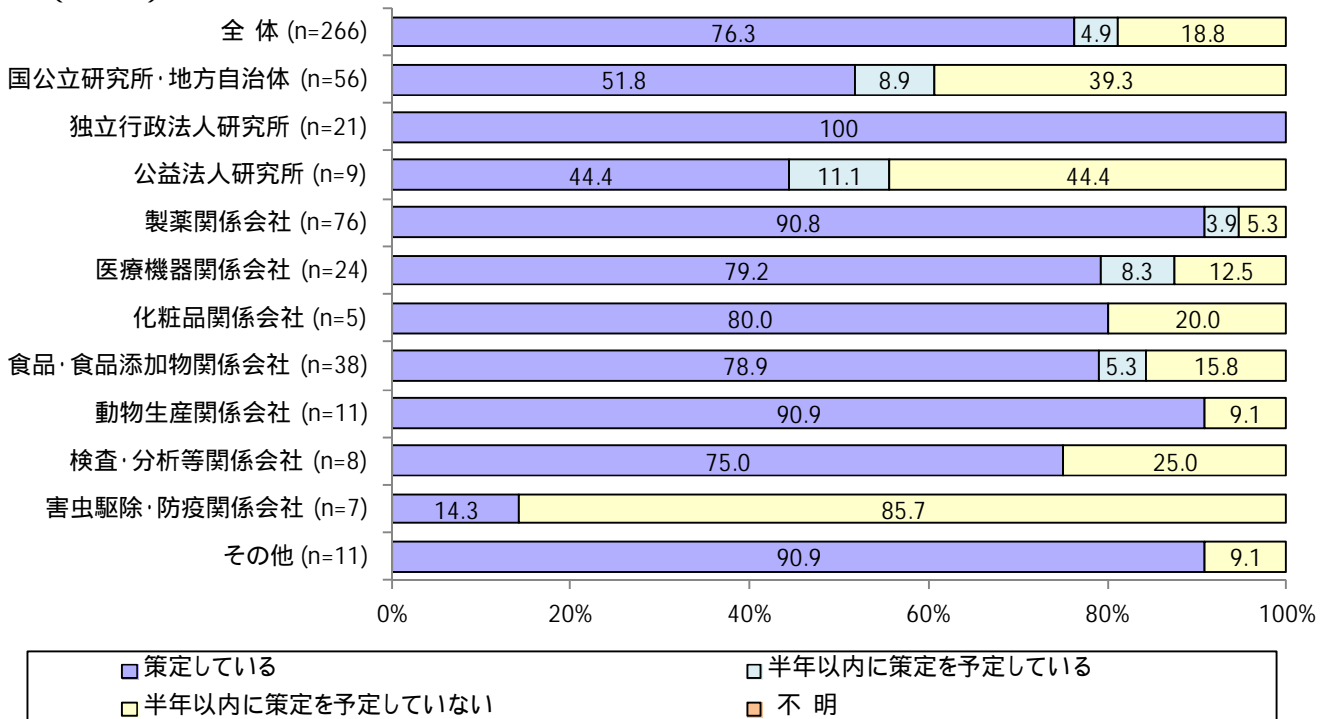
「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準」概要の認知度

(n=266)



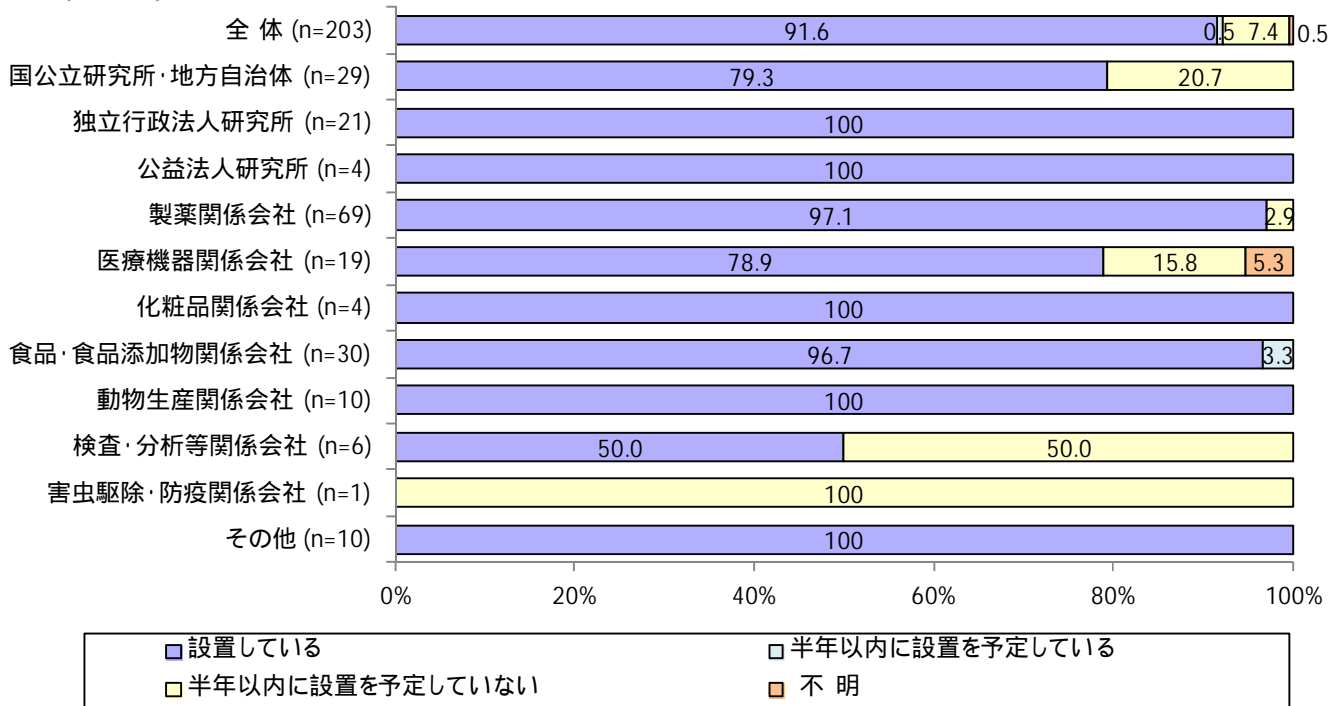
基準内容に即した指針や要綱等の策定について

(n=266)



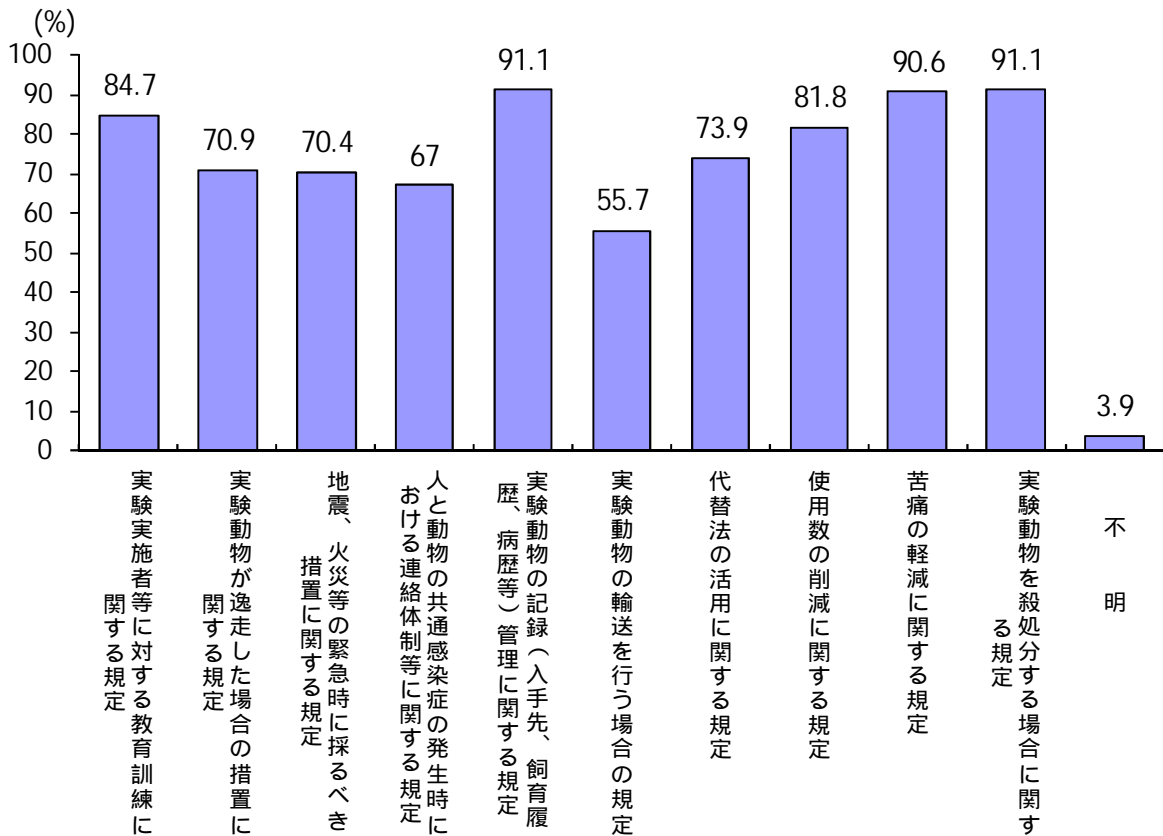
施設で策定した指針等の遵守に関する指導を行う委員会等の設置の有無

(n=203)



策定した指針等の規定内容について

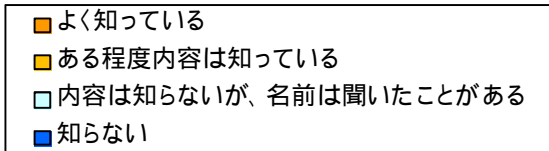
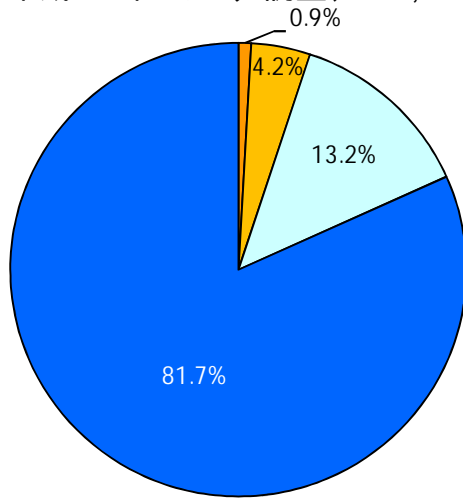
(n=203)



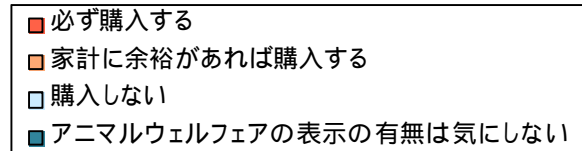
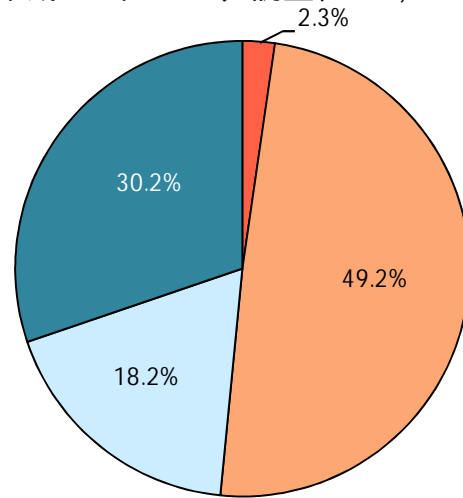
アニマルウェルフェアに関する意識

アニマルウェルフェアの認知度は2割未満だったが、家計に余裕があればアニマルウェルフェア商品の購入する意思を示したのは約49%を占めた。
 アニマルウェルフェアの考え方への賛否については、約42%が概ね賛成しているが、約40%は、わからないと回答した。

アニマルウェルフェアの認知度
 (平成24年インターネット調査、n=2,440)



アニマルウェルフェア商品購入意思
 (平成24年インターネット調査、n=2,440)



アニマルウェルフェアの考え方への賛否
 (平成24年インターネット調査、n=2,440)

